学校だより
練馬区立小中一貫教育校
大泉桜学園
第141号
令和5年11月10日
発行者　池田 和彦
http://www.sakuragakuen.nerima-tky.ed.jp/

桜祭、研究発表会を終えて

校長　池田和彦

校庭の桜の彩りが、静かで落ち着いた雰囲気をつくりだしています。気温の低下とともに、夕方５時をまわる頃には、薄暗い黄昏時の風景になってきました。秋の夜長、勉学に励み、静かに読書に親しむのに適した頃となりました。

先月の 20 日、本校の代表的文化的行事である第 13 回桜祭がサンアゼリア大ホールで行われました。たくさんの保護者、ご来賓の皆様に早朝からお越しいただいて、子供たちが真剣に頑張っている様子をご覧いただき、大変ありがたく思います。また、桜連絡会の皆様には、桜祭の運営にご協力いただきまして、ありがとうございました。

桜祭、本番では各学年、わずか 10 分弱の発表でしたが、子供たちは９月からこの日のために、励まし合いながら、妥協を排して、練習に取り組んできました。朝礼で「心を一つに」「一生懸命に」という言葉を送りましたが、人々に感動をもたらす音楽を築き上げるのは、そう簡単な、容易いことではありません。音楽的な技能を習得することはもちろん、合唱に対する個々の温度差からくる軋轢や誹謗が、暗い雰囲気を醸し出したこともあったと思います。それでも担任や学年の教員の言葉かけや励まし、音楽科教員の指導を受け、最終的に自分たちの力で幾多の山を乗り越えたからこそ、その先にある崇高な、何にも代え難い喜びと心地よさを得ることができたと思います。桜祭に向けて協力して活動し、成就感、充足感、連帯感を高める経験を通して、多くのことを学び成長することができたことと思います。小中一貫教育校ならではの１年生から９年生までが、一堂に会しての桜祭。子供の世界観の中で、下級生は上級生の姿から多くのことを確実に学び、上級生は下級生とのふれあいを通して、豊かな心を自然にはぐくんでいます。

11 月２日、令和４、５年度、練馬区教育委員会教育課題研究指定校として、研究発表会を行いました。当日は、練馬区内外からたくさんの教育関係者が参集し、研究授業、研究全体会に参加しました。開校以来、４回目の研究発表会でしたが、今回は現行の学習指導要領（学校教育法に基づき、文部科学省が学校で教育課程を編成する際の基準を定めたもの）に示されている「授業改善」に向けた研究に取り組みました。本来、「学ぶ」ことは常に能動的な営みであり、学習者自らが継続的に学びに向かい、推進し続ける姿が求められます。しかしながら、時には学習内容が理解できず、学習に対する自信や意欲を失うことが多々あります。そこで、「小中一貫教育校の特色を生かして、自律的、協働的な学びを育む授業の創造－発達段階、教科の特性を踏まえたエデュスクラムの活用を通して－」を研究主題とし、児童生徒の学習意欲を高め、協働的に学びを進めることのよさや楽しさを実感させるための教授法や指導方法などについて、本質的かつ多角的に研究を推進しました。全教科において研究授業を行い、研究協議を重ねるとともに、講師を招聘して指導助言を受けたことにより、児童生徒が自ら自律的に協働的に学習に参加するための指導技術の向上と共有が図られ、とても意義のある研究に取り組むことができたと実感しております。また、研究授業を行うに当たり、小学部、中学部の教員が校種を超えて指導案を検討し、放課後に事前授業を行うなど、よりすばらしい授業の在り方を目指した自主的な取り組みが多くみられました。研究を核とした教員間の協働的な活動が推進され、本校のさらなる授業力の向上につながったことは、とても意義のあることだと考えます。今後は、今年度の研究を通して培われた児童生徒の学習をより発展させるとともに、学習指導要領で示された子どもの学びに向けた研究をさらに推進していかなければならないと考えています。

第 13 回　桜祭を終えて

中学部音楽科　島﨑　早苗

今年度の桜祭は、コロナ禍を経て 4 年ぶりの制限のない桜祭でした。今年度のスローガンは「音楽精神　～桜の花より愛される音～」です。このスローガンを目指し、各学年一生懸命練習に取り組み、少しずつ形にしていき、本番では舞台上でその成果を十分に発揮できたと思います。彼らから出た音が会場中に響きわたり、ホールは音で満たされ、本当に心を動かされました。直前からインフルエンザでの欠席が出始め、当日参加できなかった児童生徒がいたのは本当に残念ですが、参加できたメンバーでフォローしあい、今できる限りの最高の発表ができました。

この桜祭という行事は多くの人の協力があって成り立っている行事です。5～9 学年の実行委員は 9 月に入って間もなく活動をはじめました。本番までそれぞれの担当の仕事を進めると同時に、学年の練習を引っぱっていくというかなり大変な仕事でした。当日は裏方として会場準備から司会、楽器の出し入れ、片付けまで各自が責任を果たしてくれて、滞りなく桜祭を開催することができました。実行委員たちはこの仕事を経験することによって大きく成長したと思います。

そして、実行委員以外にもたくさんの協力がありました。桜祭を盛り上げようと限られた時間の中で最大限努力してきた児童生徒、プログラムの表紙絵を描いてくれた児童、そして何よりも子供たちを支え、応援してくださった保護者の皆様。たくさんの方々のおかげで、桜祭を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

第 1～4 学年　たてわり遠足

特別活動部　丸山　開史

10 月 5 日（木）に 1 年生から 4 年生がたてわり遠足を行いました。「上級生は、下級生の面倒を見る。下級生は、上級生の話をよく聞き、約束を守る。」というめあてのもと、東校舎の最高学年である 4 年生が中心となり、和光樹林公園へ行きました。公園へ向かっている最中も、上級生は、下級生の面倒を見て、道に広がらないように気を付けたり、2 列で歩くよう声を掛けたりして、安全に向かうことができました。また、下級生は上級生の声掛けで気を付けて歩こうとする姿が見られました。

和光樹林公園では、オリエンテーリングをしました。チェックポイントで先生から出されるゲームやクイズをクリアして暗号を集め、集めた暗号を並び替えると問題が出現します。ゲームやクイズは、たてわり班のみんなで協力して、クリアすることができました。ゴールした後は、4 年生が考えた遊びを班ごとに行い交流を深めました。

学校に帰ってくると、4 年生の表情からは、班をまとめることができた達成感が見られました。また、どの学年の児童からも「楽しかった」という声が聞こえてきました。これからもたてわり遊びを通して、笑顔が溢れる学校を目指していきます。

第５学年　実りの秋　桜米収穫

第５学年主任　下川　洋平

６月初旬に植えたさくら米の苗も、すくすくと生長して立派な稲穂を実らせ、無事に稲刈りを迎えることができました。

子供たちは、たわわに実った稲穂の束を鎌を使って一株ずつ刈っていき、体に伝わるザクッという心地よい感触を味わいながら、豊かな収穫の喜びを感じていました。刈り取った稲穂は、稲藁で結び、乾燥させるためにはざ掛けにしていきます。機械で乾燥させる農家が多い中、こだわって昔ながらの方法で乾燥させた方が甘いお米になるという農家の方もいらっしゃるそうです。

稲刈り中はどうしても稲がたくさん落ちてしまうのですが、一本一本の落ち穂にも目を向け、「落ちている米がもったいない」「このくらいあれば茶碗１杯ぶんくらい食べられるかな」と１粒も無駄にしないようにと、これまで育ててきたさくら米に対する気持ちがたくさん表れた素晴らしい行動も見られました。また、手作業の大変さや苦労を体験しましたが、その後には実りの恵みというご褒美があることを感じられた活動にもなったことと思います。

第６学年　桜・歴史体験！「室町文化体験学習」

第６学年主任　山﨑　晃

10 月 14 日（土）に社会科の歴史学習の発展的な内容、また、総合的な学習の時間の「室町文化を調べよう」という学習の一環として、体験学習を行いました。この学習は６年生の伝統的な行事となっており、本校の特色ある教育の一つです。当日は、華道（草月流）の近藤由美子先生、茶道（裏千家）の佐藤浪子先生、墨絵（国際墨画会）の古川玲秀先生の３人の講師の方をお迎えしました。

事前の学習や調べる活動を通して、室町時代にこのような日本を象徴する伝統文化が確立した背景や、それぞれの作法や使用する道具などについて学びましたが、実際に体験したことのある児童は少なく、当日は心地よい緊張感のもと、興味関心をもって取り組むことができました。

華道体験では、近藤先生にまず基本的な生け方を教わり、数種類の草花を二人組で相談し、助け合いながら生けました。型を大切にしながらも、児童の豊かな発想が生かされた作品が完成しました。どれも生き生きとした美しいものに仕上がりました。

茶道体験では、佐藤先生にお茶会に参加することを通して美しい所作や感謝の心を教えていただきました。慣れない正座に苦労しながらも、和三盆と抹茶のおいしさを感じ、心と体で学びを広げている姿が印象的でした。

墨絵体験では、古川先生の一つ一つの説明にしっかりと耳を傾け、筆の特徴を十分に生かして竹の絵を半紙いっぱいに描いていきました。同じ黒色でも水と墨の含ませ具合で微妙に変化していく濃淡に驚きながら、墨の色だけで描く見事な竹の絵に、満足感をたくさん味わえた様子でした。

伝統文化に親しみ、より深く知ることが、これを守り、伝えていこうとする第一歩につながると思います。「百聞は一見に如かず」という言葉がありますが、調べて得る知識よりも体験して学ぶことの大切さを実感した様子が子供から伝わってきました。この体験をきっかけに、我が国の素晴らしい伝統文化を大切にしようとする心が育まれました。

前日や当日はたくさんの保護者ボランティアの方々がお手伝いくださり、とてもスムーズに進めることがきました。お忙しい中ご協力くださり、ありがとうございました。

後期児童生徒総会

特別活動部　植松　寿行

10 月 12 日（木）に体育館で 5～9 年生が一同に集まる形で後期児童生徒総会が行われました。この日のために、各委員長、質問・提案者、議長団、児童生徒会役員は準備を進めてきました。後期から、8 年生が各委員長を務めるため、新しい顔ぶれで行われました。

前期児童生徒総会と違い、桜祭時程で 45 分間しかないなか、議長団を中心にスムーズに会を進めることができました。また、各委員長の話を真剣に聞いている児童生徒の姿も見ることもできました。

13 期児童生徒会役員が立てたテーマ「みんなの意見を映し出せ～創意工夫で一歩前進」です。このテーマには、児童生徒から出た意見をもとに、新しい取り組みなどを考え、学校をより良いものにするために一歩ずつ進もうという思いが込められています。このテーマを合い言葉に、各委員会で今回立てた目標の実現に向けて最後まで頑張ってほしいです。また、児童生徒の皆さんも、委員会活動に関心をもって、自治活動を盛り上げてほしいと思います。

11月行事予定

諸事情により予定が変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
			11/1	2	3	4
			開校記念集会 午前授業	研究発表会 5時間授業	文化の日	
5	6	7	8	9	10	11
開校記念日	朝礼 安全指導	進路面談（9）終	中学部午前授業	就学時健診 3時間授業　給食あり	避難訓練 5時間授業	土曜授業 長縄集会（1～4年）
12	13	14	15	16	17	18
	期別朝礼Ⅰ 小学部個人面談始 卒業アルバム個人撮影(6) 小学部午前授業	小学部午前授業	期末考査1日目 午前授業	期末考査2日目 英語4技能検定（6） 午前授業	期末考査3日目 小学部個人面談終 学習発表会実行委員会 午前授業	
19	20	21	22	23	24	25
さくらっ子祭り	桜学朝会 領域診断テスト（9）		保育園交流（1）	勤労感謝の日	学習発表会実行委員会 スキー教室生徒保護者説明会（8）	
26	27	28	29	30	12/1	2
英語スピーキングテスト	期別朝礼Ⅲ 持久走週間始	貧血検査(7) 健康集会（1～4）	小学部午前授業 卒業アルバム個人撮影（9）	委員会活動 たてわり遊び 学習発表会実行委員会	3年社会科見学 中学部三者面談始	

教育相談場所	西校舎3階「相談室」	東校舎1階「あったまルーム」

☆中学部　スクールカウンセラー（上草）火曜日9：00～17：00　心のふれあい相談員（石井）月・木曜日8：30～15：30
☆小学部　スクールカウンセラー（中村）月曜日9：00～17：00　心のふれあい相談員（木村）火・木・金曜日9：00～14：00
相談予約は専用携帯へお願いします。小学部：080-7798-3201 中学部：080-7798-3336（5・6年生は中学部用でも可）